

## ワーク中心

プログラム番号 2301C

# 教職員のための大学の危機管理 —事例から考えるハラスメント—

### ■講師

吉田 一恵（愛媛大学 教育学生支援部 愛媛大学 SD 統括コーディネーター/能力開発室長）  
愛媛大学法文学部法学科卒業。愛媛大学広報室長，人事課長，教育学生支援部長を経て平成 29 年 4 月から現職。広報室・人事課での約 6 年間愛媛大学危機管理室副室長を兼務し，記者会見を所掌，報道対応マニュアル等を作成，人事課では，全事務系職員へのスタッフポートフォリオの導入や労務・人権侵害事案に対応，教育学生支援部では，入学から就職までの学生支援活動，危機管理事案に対応するとともに，現在まで一貫して教職員能力開発拠点 SDC/SPOD-SDC として職員の能力開発に取り組んでいる。

高木 佳代子（愛媛大学 総務部就業環境推進室 副室長）  
放送大学教養学部卒業。愛媛大学採用後，情報関係，共済関係及び学務関係の業務に携わる。平成 28 年 4 月から就業環境推進室にて，人権侵害事案，裁判対応，相談窓口に係る業務を担当。平成 29 年 4 月から現職。

### ■プログラム概要

あなたが，今，何気なく行っているその言動は，ハラスメントではありませんか？  
本プログラムでは，大学等において，今，身近にあるハラスメントについて説明すると共に，ハラスメントが起こった時の初期対応，未然に防ぐための気づきについて考えます。特に，複雑かつ多様化するハラスメントについて，具体的事例を挙げながら，「ケースメソッド」により省察し，①ハラスメント認定のポイント，②ハラスメントが起きた場合の対処方法，③ハラスメント「施策」を導き出していきます。

### ■主な受講対象

一人一人が異なる背景をもって，勉学や仕事に臨んでいる現在，組織として，個人として，高等教育機関における

- 「・改めてハラスメントに対する基礎知識を得ようと思っている。
- ・ハラスメントに対する知識を最新のものにしたいと思っている。
- ・攻めのハラスメント防止策を考えたいと思っている。
- ・正に，ハラスメントに直面している。
- ・現に，ハラスメントを見聞きしている。」

等々を含め，全ての教職員の方々を対象としています。

### ■本プログラムの到達目標

1. ハラスメントについて，説明することができる。
2. ハラスメントの事実認定ができる。
3. ハラスメントに対処できる。
4. ハラスメントの予防対策を構築することができる。

### ■日時・場所

日時：平成 29 年 8 月 23 日（水）10：00～12：00

場所：徳島大学常三島キャンパス